

# 情報収集と浸水被害への備え

浸水被害から身を守るために、情報収集と浸水への備えに努めましょう。

## 情報収集の手段と伝達経路

※防災に関する情報の収集先は P.25 に紹介しています。

テレビ・ラジオ・インターネット・  
静岡市防災メール



※「静岡市防災メール」は、地震や気象警報等の防災情報を電子メールで配信するものです。静岡市防災メールの登録用アドレスは P.25 をご覧ください。

気象情報・河川情報

公表される気象情報・河川情報を、避難の判断に役立てましょう。

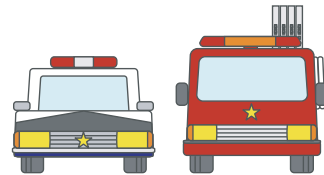
同報無線



※同報無線が聞き取りにくいときの問い合わせ先

0180-99-5656  
(防災情報電話案内サービス)

警察・消防



避難情報

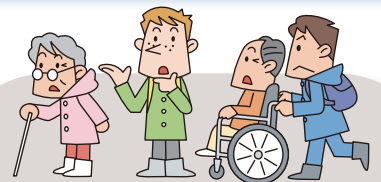
市民のみなさんがとるべき行動をよびかけます。この避難情報にしたがって行動しましょう。

避難準備・避難行動



一般の方

情報の  
提供・共有



高齢者 外国人 体の不自由な方  
要配慮者

市民のみなさんへ

高齢者世帯や妊婦、体の不自由な方など、災害時に支援が必要な方には、ふだんから気を配り、みなさんの安全が確保できるようにしましょう。

低

避難準備

高齢者等避難開始

避難しなくてはならない状況になる可能性があるため、その準備を促す発表です。

- いつでも避難できるように、避難の準備をしましょう。
- ラジオやテレビの放送、市役所などからの広報に注意しましょう。
- お年寄りや子ども、身体の不自由な人は、避難を始めましょう。

緊急性

避難勧告

市民に避難の開始を勧める発令です。

- お互いに助け合って、避難行動を始めましょう。
- 自動車での避難はできるだけやめましょう。

高

避難指示  
(緊急)

被害の危険が切迫した時に発せられるもので「勧告」より拘束力が強くなります。

- 直ちに避難しましょう。

## 家庭でできる浸水への備え

### ■浸水に備えて

家の近くの道路側溝や雨水ますなどの点検・清掃にご協力をお願いします。



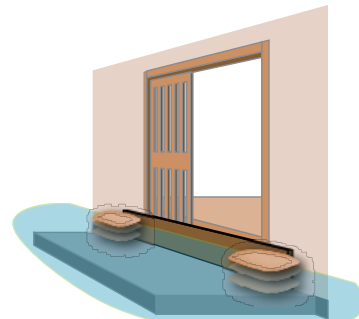
### ■浸水が発生しそうな時は

\*あくまで小規模な水害で水深の浅い初期段階で行うものです

家屋や家財への被害を軽減するため、出入口や1階の窓の前に土のうや止水板などを置き、家屋への浸水を防ぎましょう。身近な材料を使って浸水を防ぐことができます。



水を入れた袋と段ボール箱なども土のうの代わりになります。



長めの板と土のうで、玄関などから入ってくる水を防げます。

静岡市では、雨水が川や水路へ流出するのを一時的に抑え、浸水による被害を軽減させるため、雨水貯留浸透施設設置に対する助成を行っています。(P.22 参照)